

## 第14回八尾市男女共同参画審議会 会議録（概要）

### 1. 開催日時

平成29年11月14日（火）午前10時～11時40分

### 2. 開催場所

八尾市水道局4階 大会議室

### 3. 出席者

委員：細見会長、関根副会長、山中委員、二宮委員、谷岡委員、池尻委員、宮本委員、  
朴委員、西川委員、吉永委員、平尾委員

事務局：村上人権文化ふれあい部長、網中人権文化ふれあい部次長、山本人権政策課長、  
長野人権政策課長補佐、文珠人権政策課男女共同参画推進係長、  
友成人権政策課男女共同参画推進係主査、  
京谷女性活躍推進プロジェクトチーム課長補佐

### 4. 案件

- (1) 「八尾市はつらつプラン～第3次八尾市男女共同参画基本計画～」の進捗状況について
- (2) その他

### 5. 議事内容

【開会】部長挨拶  
委員紹介  
資料確認

#### 【意見概要】

#### ●会長

例えば、資料3（1ページ）女性の活躍推進について、女性活躍推進会議や、八尾市こどもいきいき未来計画のこども・子育て会議など、各部局でさまざまな取り組みをおこなっているが、それぞれの会議やプロジェクトチームの取り組みが効果的にネットワーク化されているかが気になった。委員のみなさんの意見や気になった点などお聞きしたい。

#### ●委員

資料3（2ページ）施策5に、無料職業紹介事業における、女性の求人開拓について記載されている。女性の就労状況はパート就労や非正規就労が多いと言われているが、登録企業数、職種、採用形態などわかれば教えていただきたい。

また、施策7に、女性活躍推進のためのワーキング会議で検討を重ねて提案書を作成したとあ

るが、提案書は公開されているのか、どのような内容であるか教えていただきたい。

#### ●事務局

無料職業紹介事業については、求人情報検索サイト「八尾市おしごとナビ」を開設した。サイトには女性の働きやすい求人特集などもある。

八尾市求人情報検索サイト「八尾市おしごとナビ」は、平成28年10月開設し、平成29年6月末現在で、閲覧数 16,940件

求人登録件数 239件（内女性の働きやすい求人 149件）

求職登録者数 161人（内女性 128人）

応募者数 29人（内女性 21人）

就職者数 9人（内女性 6人）

#### ●委員

女性活躍推進担当として説明させていただくが、職員のワーキング会議については、女性職員で議論を重ね、提案書はホームページで公開している。

内容については、育児休業中職員への復職サポート制度の提案があった。具体的には「育児休業復職支援シート」を作成し、所属長と情報を共有し、職員が育児休業を取得する際に、安心して職場復帰しやすいように、職員にイメージしてもらうためのものである。

また、メンター制度として、育児や介護について先輩職員に相談できる環境をつくるため、先輩職員が、メンターに登録する制度を試行実施している。

また、育児休業中職員の交流会を実施した。職場復帰する際に、不安の解消や、悩みを相談できる場として、今年度から制度を試行実施している。

#### ●会長

提案書をもとに、制度を実施しているということであるが、男性の育児参画にも広がっていくのか。

#### ●委員

今年度のワーキング会議の取り組みとして、ワーク・ライフ・バランスをテーマに男性職員も参加して、議論を進めている。

#### ●会長

管理職の参加も必要であると考えがいかがか。

#### ●委員

今年度のワーキング会議には、管理職も入って議論を進めており、上司の意識も変わらないと進んでいかないと会議の中でも議論されている。関係課とも調整して前向きに進めていきたい。

●会長

資料3（2ページ）施策4に、「校区まちづくり協議会連絡会において、役員改選の際、積極的な女性役員登用を促す声かけを行った。地区自治振興委員長・地区赤十字奉仕団連合分団長について、積極的な女性委員登用を促している。」と記載があるが、これについての意見はいかがか。

●委員

民生委員児童委員協議会会長をしているが、民生委員児童委員は八尾市内に16地区あり、委員長は、15人が男性、1人が女性という現状である。

男性の委員長は仕事の都合により、昼の活動に参加しにくい方が多い。女性の委員長も増えていけば助かるという思いがある。3年毎の改選であるが、行政からも働きかけていただけたらと考える。

●会長

16地区で、女性の委員長が1人ということであるが、少ないと思うが。

●事務局

女性の委員長になり手がいないという現状をきかせていただいた。それぞれの団体の事情もあると理解しているが、女性参画の視点を広く理解いただき、それぞれの団体に取り組んでいただきたいと考える。

●委員

民生委員児童委員は、それぞれの地区で女性委員が多い状況である。その中から各地区で委員長を選出しているが、委員長には、女性が少ない現状である。

●会長

自治振興委員会の現状はいかがか。

●委員

これまで、自治振興委員も男性社会であったが、私は、3年前から、自治振興委員長を務め、その後副会長をしている。自治振興委員会の幹事会では42名中、女性は3名である。それぞれの地域から女性の委員長を出して、地域活動の中に女性の意見をいただけたらと考える。男性が多い中、女性が副会長となることには当初抵抗を感じたが、やってみることが大事だと考え、挑戦しているところである。

●事務局

委員の活動については、市政だよりも、女性活躍の特集記事で掲載させていただいたことがある。本市では、地域分権の取り組みの中で、男性、女性、それぞれの視点でまちづくりに参画できるような環境づくりをめざしているので、引き続き協力いただきたい。

●委員

資料3（2ページ）施策4の中で、男女共同参画推進員を対象とした研修について記載があるが、男女共同参画推進員とは庁内の取り組みか。また、男女共同参画推進員の女性割合はどうか。原則所属長とすると書かれているが、所属長が男女共同参画推進員を担っているということか。説明いただきたい。

●事務局

平成29年度からの庁内の取り組みであり、各所属に男女共同参画推進員を配置して、八尾市が実施する施策を通して男女共同参画を進めていくことを目的としている。市の施策への男女共同参画の視点の導入及び推進を図るため、それぞれの施策について権限のある所属長が推進員を担うこととしている。

課長以外の管理職が推進員となっている所属もあるが、参考として、本市の課長級の女性割合は、14.6%である。

●会長

女性管理職の登用と、男女共同参画推進員との関係はどうなっているか。

●事務局

女性管理職の登用の取り組みとは別に、男女共同参画推進員の取り組みは、各所属に、原則所属長とする推進員を配置することにより、市の施策に、男女共同参画の視点の導入を図ることをめざしている。

●会長

男女共同参画推進員は何人いるのか。

●事務局

庁内の各所属の課長または管理職が推進員となっているため、100人弱である。

●会長

男女共同参画推進員は、それぞれの職場の管理職がなっていると理解した。男女共同参画推進員が、市の施策に、男女共同参画の視点の導入を図るための方策は、どのようなものがあるのか。

●事務局

男女共同参画推進員を対象とした研修を実施している。研修を通じて、男女共同参画に関する理解と認識を深めて、各所属での具体的な実践に取り組んでもらうこととしている。

●委員

女性活躍推進プロジェクトチームについて、魅力的な名前だと感じた。どのような組織か、役割や取り組みについてききたい。

●事務局

女性活躍推進プロジェクトチームは、政策企画部内にあり、3人で構成している。女性活躍推進に関連する施策は、子どもに関する事業や労働に関する事業等様々あるが、総合調整を図る役割を担うために設置された。すべての女性が輝くまちづくりを進めるため、地域で活躍する、仕事で活躍する、生涯輝く女性を応援するため、さまざまな面からの取り組みを進めている。

●会長

いつまでのプロジェクトであるのか。

●事務局

プロジェクトチームは、今年度末までである。

●会長

プロジェクトチーム解散後はどうなるのか。

●事務局

プロジェクトチームの取り組みについて事務局から報告させていただいたが、組織機構については、来年度に向けて検討中である。

●副会長

女性活躍推進プロジェクトチームの取り組みは、庁内に向けたものなのか、庁外や市民に向けたものなのか。

●事務局

庁内向けにも、庁外向けにも取り組みを行っている。女性活躍に関連する担当課の取り組みの総合調整の役割を担っている。

資料3（2ページ）施策7の取り組みにあるように、庁外に向けては、仕事・地域・生涯の3つの視点で、平成29年度女性活躍加速化事業の洗い出しを行い、庁内に向けては、ワーキング会議で働き方の検討等を行った。

●副会長

庁内に向けた取り組みに関連して、女性管理職の登用は、他の市町村も進んでいない状況であるが、将来の女性管理職の増加に向けて、リーダーシップ研修の実施などの取り組みはあるのか。

●事務局

女性管理職を増やすためには、その前段階として、監督職を増やすなどの人材育成に取り組んでいかなければならないと認識している。

例えば、資料3（2ページ）にあるように、採用2年目職員を対象とした「キャリアデザイン研修」の実施や、「女性ステップアップ研修」、「女性の活躍促進研究会」等への参加、自治大学校「第1部・第2部特別課程（地方公務員女性幹部養成支援プログラム）」への職員派遣などの機会を利用して、人材育成を図っている。

#### ●副会長

どれくらいの頻度で研修を実施しているのか気になるが、将来の管理職を育成するために、庁内に向けても市が本気で組織づくりに取り組んでいただきたい。

#### ●会長

個々に良い取り組みを実施されているが、ネットワーク化すれば、庁内の取り組みも活性化するし、人材育成にもなる。そのしかけが必要だと考えるが、女性活躍推進プロジェクトチームが、政策調整の立場から有機的に、また、トップダウン的に取り組みを行えば、輪が広がり、人材育成につながると考えるが、いかがか。

#### ●委員

女性活躍推進プロジェクトチームで実施する庁内検討会議では、いろいろな所属から課長も参加している。2年間のプロジェクトチームであり、女性活躍の加速化に向けて取り組んでいるが、有機的な取り組みとなるよう、今後につなげていきたい。

#### ●事務局

庁内向けと市民向けの取り組みがあるが、庁内向けには、特定事業主行動計画を策定し、計画の中で、女性管理監督職の登用や、出産補助休暇、男性の部分休業の取得促進等の環境整備に取り組んでいる。関係する部局長で特定事業主行動計画推進委員会を、また、関係課長で幹事会を構成し、議論を進め事業計画に反映させていくよう取り組んでいる。そうした取り組みが、指摘いただいたネットワーク化につながると認識しており、職員課所管で特定事業主行動計画を実現するための取り組みを進めている。

#### ●会長

関連して、資料3（4ページ）に女性活躍推進プロジェクトチーム専用ホームページについて記載があるが、ホームページに庁内向けや庁外向けの取り組み、子育てや、ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画等関連する取り組みにアクセスできるようになれば効果的ではないか。

#### ●委員

女性活躍推進に関しては、女性団体連合会でも、生涯学習に関連して地域全体で取り組みを進めている。子どものころから消費者教育などの啓発や、警察と連携した啓発活動を実施するなど

さまざまな取り組みを行っており、地域では女性が活躍している。

#### ●委員

資料2（65ページ）に記載されている「八尾市はつらつフォーラム」の実行委員長として、男女共同参画の講演会の企画運営に携わっているが、実行委員の中に自治振興委員の地域の委員長をされている方がいる。自治振興委員には女性も多くいるが、委員長になることには抵抗を感じている女性がいると聞いた。災害時には女性の視点が大切になることもあり、地域活動には男性だけではなく、女性も参画していくことが重要だと感じた。

#### ●委員

女性が地域の中で委員長に手を挙げられないことの背景に、学校教育の中で、男子が委員長、女子が副委員長という年代もあった。今は変わってきているが、子どものころからのジェンダー教育が必要だと考える。相談事業でも、DVの割合が高いという報告があったが、その前段階としてデートDVについて子どもたちに伝えていきたいと考えている。プランの中でもデートDVの予防啓発が記載されており、資料2（40ページ）にも記載があるが、デートDVの予防啓発の取り組み実績がリーフレットの配付のみになっている。子どもたちにはデートDVをおこさないために、ジェンダー教育が必要だと考える。他市では、男女共同参画担当部署が希望する学校に、デートDV予防教育プログラムを実施していると聞いたことがある。八尾市でも、教育委員会だけではなく、男女共同参画担当でも取り組んでいただきたい。

#### ●事務局

デートDV予防啓発については、リーフレットを人権政策課で作成しており、教育委員会と連携して、学校現場で配付いただいている。中学1年生に配付している中で、学校からは、リーフレットの内容が高年齢向きではないかとの意見があったため、今後、教育委員会とも協力してリーフレットの内容について見直すことを検討している。

#### ●委員

資料2（40ページ）のデートDV予防啓発の取り組み内容には、研修等を充実するとの記載もあるが、実績はリーフレットの配付となっている。リーフレットの配付だけでは、研修にはならないと考えるが、今後の取り組みはどうされるのか。

#### ●事務局

デートDVのリーフレットは、中学校への配付のほか、人権啓発セミナーなどの機会を通じて、平成28年度は5回配布した。デートDV予防啓発は大切だと考えており、啓発の仕方については、いろいろな事例を参考に、検討していきたい。

#### ●会長

資料3（3ページ）の施策11のいじめの問題でも同様であるが、教育委員会と連携する中で、

子どもや教師に届いているかどうかをみないと効果が上がらないと、委員からの指摘である。点ではなく線で施策に取り組んで、一步も二歩も進めていただきたい。

また、資料4の数値目標について、「小中学校の管理職に占める女性の割合」が下がっている。小学校の校長は増えているが、中学校では難しい面もあるように見える。八尾市の小中学校の管理職に占める女性割合は他市に比べて高いと聞いていたが、教育委員会と市長部局が協力して取り組んでいただきたい。

#### ●副会長

全国平均と比べると、小学校は上回っている。以前は、中学校の校長の割合は13.3%あったので全国平均を上回っていたが、現在は下回ってしまった。学校は子どもたちが育っていく現場なので、そこから共同参画の意識を作り上げていくことが大切である。全国的に平均が低い状況であるが、八尾市が他市のモデルになるように進めていただけたらと願っている。

#### ●委員

資料4中の「男女共同参画が実現していると思う市民の割合」の数値も下がっているので残念である。

#### ●委員

地域団体には男性が多いことは認識しており、今年度の取り組みで、校区まちづくり協議会で活動されている女性の交流会を実施した。男性が多い会議では話し合いが活発にならないこともあるが、いろいろな地域や立場の女性に参加いただき、すぐに打ち解けて、活動について話し合っていた。ネットワークづくりにつながって地域活動が活発になっていくことを期待しており、今後も続けることを検討している。

#### ●会長

交流会はいい取り組みであり、定例化していただければいいと思う。

#### ●事務局

委員から指摘いただいた男女共同参画が実現していると思う市民の割合が下がっている点については、悔しい思いをしているところである。啓発については、女性団体連合会からは、事務局長にも女性活躍推進の情報誌への掲載により、啓発に協力いただいた。また、先程話にあった八尾市はつらつフォーラムを通じて、市民の参画によるイベントを通じた啓発に協力をいただいている。さらに、本審議会においても男女共同参画の推進について意見をいただいたので、今後の取り組みに活かせるよう取り組んでまいりたい。

#### ●委員

先程デートDVについての話があったが、人権擁護委員の啓発活動の中で、2年前に市内の中学校の1校で中学生向けにデートDV予防啓発の人権教室を実施したことがある。同中学校で、



今年度は、中学1年生を対象に男女共同参画をテーマに、人権教室を実施する予定である。また、小学生向けには、いじめ問題について人権教室を実施している。

●会長

子どもたちにとっては学校でなければ学ぶ機会がないので、大切なことである。

●委員

私も人権擁護委員をしており、小学校では「いじめをなくそう人権教室」を市内の3分の1の小学校で実施している。人権擁護委員は17名いるが、女性の方が多い。他にも活動している中で、団体によっては男性の方が多かったり、女性の方が多かったりする。各種団体等においては、それぞれ男性女性が同じ割合になっていくことが望ましいと感じている。

●会長

多くの貴重なご意見をいただいた。本日いただいた意見を、今後の施策に十分に活かしていただくようお願いしておく。